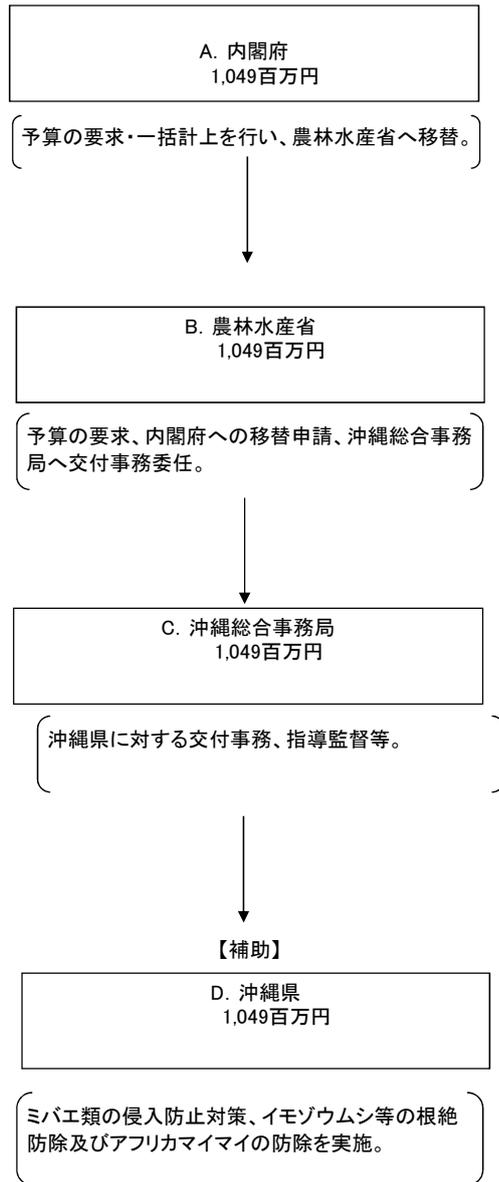


平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	植物防疫対策費	担当部局庁	沖縄振興局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和47年 事業開始	担当課室	参事官(振興第二担当)	岩片 弘信			
会計区分	一般会計	施策名	9. 沖縄施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法第105条第3項 沖縄振興特別措置法施行令第38条第4項	関係する計画、通知等	沖縄振興計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄県の農業生産に重大な被害を与えているイモゾウムシ及びアリモドキゾウムシ(以下「イモゾウムシ等」という。)や、既に根絶を達成しているウリミバエ及びミカンコミバエ種群(以下「ミバエ類」という。)等の特殊害虫に対し、根絶、被害軽減又は再侵入防止のための防除を実施し、沖縄県の農業振興に貢献するとともに、未発生地域へのこれら特殊害虫の侵入・まん延を防止し、我が国の食料の安定供給に資する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	沖縄県において、平成5年までに根絶を達成したミバエ類の再侵入防止を図るとともに、沖縄県の農業振興上の障害(イモゾウムシ等によるサツマイモ等の被害、特殊害虫の寄主植物に対する我が国の未発生地域への移動禁止又は制限等)を解決するため、特殊害虫の根絶防除等を実施している。 ・ウリミバエ: 侵入警戒調査を実施するとともに、不妊虫放飼法による防除を実施 ・ミカンコミバエ種群: 侵入警戒調査を実施するとともに、誘殺板散布による防除を実施 ・イモゾウムシ及びアリモドキゾウムシ: 不妊虫放飼法等による根絶防除を実施 ・アフリカマイマイ: 誘殺剤散布による防除を実施 補助率: 10/10、9/10						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	1,065	1,049	1,049	1,091	1,224
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
	計	1,065	1,049	1,049	1,091	1,224	
	執行額	1,065	1,049	1,049	-	-	
執行率(%)	100%	100%	100%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	・ウリミバエの発生件数	成果実績	件	0	0	0	0
		達成度	%	100	100	100	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	ウリミバエの不妊虫放飼頭数	活動実績(当初見込み)	万頭	263,430	263,000	260,800	-
							(264,000)
単位当たりコスト	0.247(円/頭)		算出根拠	・ウリミバエの放飼頭数に対するウリミバエ侵入防止事業費及び施設改修事業費の割合。(施設改修事業費については、施設を使用する事業の経費割合で試算) (547,938千円+97,436千円)÷260800万頭			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	特殊病害虫特別防除費補助金	1,091	1,224				
	計	1,091	1,224				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>・支出先の選定については、ウリミバエ等の不妊虫の生産に欠かすことができない放射線の取扱等、高い専門性を必要とする作業があることから、競争入札等になじまないものもある。</p> <p>・単位当たりのコストについては、特殊な飼料、技術及び施設でウリミバエ等の不妊虫を生産する必要があるため、コストの削減は難しい。</p>
	△	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>沖縄県において、過去に根絶を達成したミバエ類やサツマイモの生産に甚大な影響を及ぼしているイモゾウムシ等の特殊害虫が我が国の未発地域に侵入・まん延した場合、我が国全体の農業に甚大な被害を及ぼすことが懸念される。このため、本事業により侵入防止対策等を実施しているところであり、その結果、ウリミバエの再侵入が見られないなど、着実に成果が得られているところである。</p> <p>一方で、本事業の支出先の選定に当たっては、随意契約が多くなっていることから、専門性が高く競争入札になじまないものを除き、今後は可能な限り競争入札を導入し、本事業をより効率的に進めていきたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	関係機関と連携し、引き続き、特殊病害虫等の防除対策の推進を図るべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、適正な予算の執行に努めたい。			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
(平成21年度行政事業レビューにおける予算監視・効率化チームの所見) 事業の進捗状況を的確に把握し、今後の事業計画を検討すべき。			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



支出先上位10者リスト

C.沖縄県

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	琉球産経(株)	ウリミバエなどの不妊虫大量増殖等業務	239	随意契約	-
2	中日本航空(株)	ウリミバエ・ミカンコミバエ・イモゾウムシ等不妊虫航空放飼防除	178	随意契約	-
3	興南施設管理(株)	沖縄県病害虫防除技術センター施設管理委託	88	随意契約	-
4	JAおきなわ本店	宮古群島及び八重山群島ウリミバエ不妊虫放飼センター作業	34	随意契約	-
5	久米島イモゾウムシ等対策協議会	久米島におけるゾウムシ類の根絶事業	26	随意契約	-
6	うるま市	津堅島イモゾウムシ等根絶事業、ミバエ地上防除	9	随意契約	-
7	うるま市シルバー人材センター	津堅島ゾウムシ類寄主植物除去等作業	4	随意契約	-
8	竹富町	竹富町におけるミバエ調査作業、ミバエ地上防除、八重山群島におけるミカンコミバエ侵入防止航空防除に伴う地上作業	4	随意契約	-
9	新報警備保障総合ビル管理(株)	沖縄県病害虫防除技術センター警備業務委託	4	随意契約	-
10	那覇市	ミバエ地上防除委託	3	随意契約	-